

2026年度（公財）日本水泳連盟基礎水泳指導員養成講習会並びに検定試験

- 主催** (公財)日本水泳連盟
- 主管** (一社)愛知水泳連盟
- 期日**
 - 第1日 11月 8日(日) 09:40~17:00 学科・実技講習
 - 第2日 11月 15日(日) 10:00~16:00 学科・実技講習
 - 第3日 11月 22日(日) 10:00~16:00 学科・実技講習
 - 第4日 11月 29日(日) 10:00~14:00 学科・実技試験※日程及び時間は都合により変更することもある
- 会場** カワツグ 春日井(予定)
春日井市南下原町2-4-11
大会準備室 (学科講習と学科試験)
50m温水プール(実技・実習講習と実技試験)
※会場は都合により変更する場合がある
- 目的** 水泳指導員の養成と、その充実を図り、国民の生涯スポーツとしての水泳の普及と発展に努め、水の事故防止に寄与する。
(公財)日本水泳連盟基礎水泳指導員規則に基づき、その養成講習会と資格検定試験を実施し、指導者として資質・技能の向上と多くの指導者の輩出を図る。
- 検定試験科目**
 - 学科 「水泳指導者・初心者指導法」
「水泳プールにおける安全」
「水泳の科学」
 - 実技 100m個人メドレー：制限タイム
男子 1分40秒以内、女子 1分50秒以内
※36歳以上の場合、1歳につき1秒加算する
- 受講・受験の資格**
 - 検定試験当日に満18歳以上で、愛知県で登録する者(高等学校における最終学年の生徒は17歳も認めるが、登録は満18歳に至るまで保留するものとする)。
 - 十分な泳力で実技講習に参加でき、100m個人メドレーを模範的な泳法・制限タイム内で泳ぐことができる者。
 - 講習会の全てに出席し、所定の学科・実習及び在宅学習項目を履修しなければならない。
 - 未受講科目のできた者は、次年度以降3年以内に愛知水泳連盟の講習会で補講を受ければ受験できる。
※7才以下対象 基礎水泳指導員免除申請について
 - 公認水泳コーチ資格への養成講習受講を要件とする。
 - 日本選手権8位入賞以上の出場者及び選手を育成した監督・コーチ等((公財)日本水泳連盟ホームページ参照)。
 - 該当者は事前に(一社)愛知水泳連盟に連絡すること。
- 申込方法**
 - (一社)愛知水泳連盟 HP の書式ダウンロードにある「基礎水泳指導員検定試験申込書」に必要事項を記入する。
※ダウンロードが出来ない場合は、事務局に「基礎水泳指導員検定試験申込書希望」と書いて、返信用封筒を同封(住所・氏名記入・110円切手貼る)の上、取り寄せる
 - 締切日までに下記のいずれかの方法で参加費を納入すること。
 - 郵便振替：ゆうちょ銀行
(一社)愛知水泳連盟
口座番号：00850-8-158616
 - 銀行振込：三菱UFJ銀行 名古屋営業部
(一社)愛知水泳連盟(シャアイフスエイレソメイ)
普通預金 0600789
 - 締切日 9月25日(金) 必着
※領収証は、講習会初日に渡す
※申込締切後の返金はしない
 - 申込先
申込書に必要事項の全てを記入し、写真2枚を貼り(縦3.5cm・横2.5cm)下記宛に送付すること。
〒464-8691 名古屋市千種区・千種郵便局私書箱第25号
(一社)愛知水泳連盟 普及委員会宛
 - 問合せ先メールアドレス
fukyuu-asr@aichiaquatics.jp
 - 受講・受験料 20,000円(水泳指導教本代を含む)
※講義で使用する教本・受験票は講習会初日に配布
※事前に教本を受取りたい場合は、締切日以降に電話確認の上、(一社)愛知水泳連盟事務局まで取りに来ること
- 指導員登録**
 - 検定試験に合格したのち、登録完了(登録料10,000円)した者を(公財)日本水泳連盟基礎水泳指導員として認め、資格証を交付する。
 - 登録日は2027年4月1日予定。
 - 有効期限は4年で、資格の更新を希望する者は、有効期間内に(一社)愛知水泳連盟が実施する指導員更新研修会を1回以上受講しなければならない。
- その他**
 - 当日の詳細及び変更・追加事項は、締切後に(一社)愛知水泳連盟HPにて案内する。
 - 当日急遽欠席する場合は、メールで欠席理由を(一社)愛知水泳連盟に連絡すること。
 - 講習会初日に実技100m個人メドレーのプレートでチェックを行う。受講者は自身の制限タイムを把握し、そのタイム内で泳げるように練習してくること。
 - (公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく資格(公認水泳コーチ1,3)の専門科目に相当するものとして認定され、当該資格取得の際に同科目の新規受講・受験は免除される。